



ちばなハイサイ子育て便り

桃の節句を迎え、風にも日差しにも春らしさの感じられることとなりました。今学期も最後の月を迎え、少し寂しくなる気持ちと同時に次のステップに向けて胸を弾ませてるところだと思います。子ども達は進級に向けて、新社会人の方は新生活に向けてと何かと準備に忙しい3月ですが、移り変わり行く景色や気温を感じ過ごしてほしいものです。

昼夜の寒暖差はまだ少しありますが、ぜひ体調管理にも気を付けて、くれぐれも怪我や病気がないようにお過ごし下さい。皆様の健やかな成長を願っております。今月もどうぞよろしくお願致します。

おめでとうドーム～紙吹雪が舞うペットボトルのお祝い飾り～

透明のドームの中で舞う、セロハンの紙吹雪がお祝いなどに持ってこいの製作遊び。

ペットボトルを振る度に、静電気でもセロハンが壁にくっついて違う模様になる！

誕生日や卒園、入園のプレゼントにおめでとうの気持ちを閉じ込めて贈ってみてはいかが？

★準備するもの

- ・円筒形ペットボトル
- ・段ボール
- ・画用紙
- ・カラーセロハン
- ・はさみ
- ・カッター
- ・絵の具
- ・描くもの（クレヨンや色鉛筆など）

※ペットボトルの切り口は危ないので、注意する。
※カッターの取り扱いには十分に注意する。

●作り方

- 1、ペットボトルの半分より少し上（飲み口から13センチほど）に、カッターで切り込みを入れて切り取る。
- 2、ドームの底部分を作る。
ペットボトルの切り口を段ボールに当てて鉛筆等でなぞり、切り取る。
- 3、中に立てる人物を作る。
画用紙を半分に折り、山の部分をつなげた状態にしたまま両端を弓形にカーブさせて切り取る。
- 4、3の下の端を少し折り曲げて立たせる。
- 5、3でつけた折り目をのばして、裏表に人物や動物、花などの絵を描く。
- 6、2で切り取っておいた、底部分の段ボールにも色を塗ったり模様を描く。
乾いたら、5の人形を底面に立つようにして貼り合わせる。
- 7、セロハンを紙吹雪のように細かく切っておき、1に入れる（この際、ペットボトルのキャップは閉めておく）。
※ペットボトルの切り口で手を切らないように注意。
- 8、段ボールで底をふさいで、底側にビニールテープが半分くらいはみ出すようにして1周くると巻く。
- 9、底にはみ出したビニールテープに切り込みを入れて折り曲げたら、できあがり！



<hojokuより>

3月3日はひな祭り



ひな祭りとは、日本ならではの女の子の成長を願う日です。ひな祭りの起源が季節ごとに設けられている「五節句」の1つ「上巳の節句」であることから、毎年3月3日がひな祭りの日として定着しています。五節句は、神様へ季節ごとの食物を供える風習です。上巳の節句は、桃の花が咲く時期と重なることから、「桃の節句」とも呼ばれています。

ひな祭りの由来

ひな祭りの起源である五節句は、古代中国の「上巳節」が由来となっています。季節の変わり目である3月3日は邪気が入りやすいとされ、中国では3月になると水辺でお祓いをして、緑のよい桃の花で厄払いを行ったりする風習がありました。中国の上巳節が日本に伝わった時期は、飛鳥時代以降です。遣唐使によって伝えられた上巳節は、平安時代に年中行事となり、江戸時代以降は五節句として多くの人々に親しまれるようになりました。貴族の子どもたちの間で人気があった「人形遊び（ままごと）」「ひいな遊び」が五節句と結び付き、女の子の成長や良縁を願うひな祭りとなったといわれています。

子どもに伝えたい！ひな祭りにまつわる風習・慣習

1. ひな人形を飾る

ひな祭りが近づくこと、ひな人形を飾る家庭や保育園施設も多く見られます。ひな人形は、時代とともに川に流すスタイルから室内に飾るスタイルに変化しました。ひな人形を飾ることには、「厄災を引き受けてくれる」「美しく成長することを願う」などの意味があります。ひな人形を飾る位置は種類によって異なるため、事前に確かめておきましょう。種類別のひな人形の飾り方は、下記のとおりです。

京都びな

向かって左側に男びな、右側に女びな

関東びな

向かって左側に女びな、右側に男びな

昔は、三人宮女・五人囃子・鎧臣（ずいじん）・仕丁（しちょう）・嫁入り道具などを含めた七段飾りのひな人形を飾る家庭が多く見られました。しかし、近年は住宅事情や好みの変化から、三段飾りや二人飾り（親王飾り）などを遊ぶ家庭が増えています。

ひな人形を飾る期間は、立春（2月上旬）から啓啓（3月上旬）が目安です。雨水（2月中旬）に飾ると縁起が良く、ひな祭り前日の3月2日に飾ることは「一夜飾り」として縁起が悪いと考えられています。

2. ひな祭りならではの食事をとる

○菱餅

○ひなあられ

○ちらし寿司

○ハマグリのお吸い物



<https://hoikumynavi.jp/contents/hoikurashi/childminder/knowledge/8194/> ぽいくらしより引用

乳幼児期に必要な「アタッチメント形成」とは？

子どもが不安や恐れを感じたときの保護者のかかわりかた

乳幼児期の親子のアタッチメントが大事

子どもと養育者の間の情緒的なつながりを「アタッチメント」と呼びます。ベネッセ教育総合研究所と東京大学Cedepの共同研究の調査から、このアタッチメントが子どもの成長においてとても重要だということがわかりました。同研究では、同じ子どもを0歳児期から3歳児期まで追跡して調査しています。この結果からは、0歳からのアタッチメントが、非認知スキルともいわれる「学びに向かう力」の育成につながっていくことがわかりました。

家庭でできるアタッチメント形成方法は？

基本的には、多くの保護者のかたが日々お子さまと接しているようなコミュニケーションがとても大切なのです。例えば、子どもが泣き出したら「どうしたの？」と寄り添うこと。あるいは、転んでしまったら「痛かったね」と子どもの気持ちに共感して優しくあけること。そうした、子どもとの心の通い合いにより、アタッチメントが形成されます。

アタッチメント形成につながる保護者の役割は大きく2つあります。

1つめは、保護者のかたが「安全な避難所」になることです。子どもが怖さや不安を感じた時に、保護者がその気持ちに寄り添い、落ち着かせてあげることによって、子どもの心は安定します。不安や恐怖から逃れられる安全な場所となるのです。

2つめは、「安心の基地」になることです。「安全な避難所」でホッとした子どもは、保護者を「基地」にして、再び保護者の元を離れて遊びや探索に出ていき、そこでさまざまな経験を深めていくことができるのです。それが「学びに向かう力」を育てることにつながります。

ポジティブな養育行動をすることでアタッチメントを形成する

同研究では、アタッチメント形成につながる保護者のポジティブな養育行動として「あたたかさ」「敏感さ」「やりとり遊び」「意欲の尊重」が重要であることがわかっています。

こうしたポジティブな養育行動が、アタッチメントの形成に関わることが研究から明らかになりました。そして、ポジティブな養育行動とアタッチメントは、相互に関わり合いながら形成されていくこともわかっています。日頃から保護者のかたがお子さまの様子に応じて関わっていることが、お子さまの発達にとって大切な意味を持っているのです。重要なのは、保護者の方が先にいろいろやってあげるのではなく、お子さまが必要としたときにそれに気づいてあたたかく接することです。ぜひこれからも意識して取り組んでみてください。



<ベネッセ 教育情報サイトより一部抜粋>

今月の絵本



ドーナツやのボルカさんは、まいにちまいにちおいしいドーナツをつくります。

ざいりょうを混ぜて、型でぬいて、油であげて...。さいごの仕上げはお手伝いの子どもたち。シャカシャカとお砂糖をふりかけて完成です！

みんなでおしくドーナツを食べていると、ふしぎな手紙が届きます。

毎年春になる前に届くその手紙には、「あなもりやまのてっぺんに、ドーナツ100こもってくるぞ！」と書かれていました。

怪物がいるというわきのある山に、みんなは無事ドーナツを届けることができるのでしょうか...？

かわいらしいイラストが目を引く「ドーナツやさんのおてつだい」は、ドーナツを作って春の野原にお出かけしたくなる一冊です。

ボルカさんと子どもたちが作るカラフルでおいしいドーナツは、見ているだけでお腹も心も「まんぷく」に満たされますよ。

アサヒ飲料が全国の幼稚園や保育園にプレゼントする企画で制作されたこの本には、カルピスの水玉を表現したドーナツも登場します。

親子のきずなが深まるようにと作られた絵本は、その絵柄とストーリーが読み聞かせもびびったりですよ。

大人も子ども、おいしいドーナツと登場人物の姿に笑顔がほころぶ、春色のしあわせに包まれた作品となっています。



うみひこくんはもうすぐ小学1年生。待ちに待った青色のランドセルがお家にやって来ました。

おとうさんの本、おかあさんの家計簿、新聞に雑誌、ランドセルにはたくさん入ります。

さっく背負ってみると、まだまだ体よりずっと大きいランドセル。

うみひこくんはなんだか少し大人になった気分です。さあ、青色のランドセルでお出かけてみよう！

春といえば新しい出会いの季節。「ランドセルがやってきた」は、入学式控えてワクワクドキドキする子どもの気持ちがぎゅっと詰まった絵本です。

ランドセルを背負って張り切るうみひこくんの姿に、過去の自分と、子どものこれからの成長を重ね合わせる方も多いのではないのでしょうか。

作者は「ピーマン村の絵本たち」で人気の中川ひろたか・村上康成のコラボ。

春のさわやかさを感じる絵本は、新1年生へのプレゼントにも最適な一冊となっています。